

平成23年度 契約監視委員会（第2回）議事要旨

1. 日 時 平成24年3月29日（木） 14:00～17:15
2. 場 所 大学評価・学位授与機構 小平本館718会議室
3. 出席者
（委員） 和田委員長、館委員、島田委員
（事務局） 福治管理部長、高瀬会計課長、奈良会計課課長補佐、内間契約係長
塩原資産管理係長、吉田契約係員、永田監査室長、坂田監査係長、
中村監査係員
4. 議 事

議事に先立ち、平成23年度第1回の議事要旨（案）が確認され、了承された。

- (1) 契約監視委員会（第1回）の指摘事項のフォローアップについて
資料2に基づき、前回の指摘に対する改善状況を報告した。
※質疑の概要については、〔別紙〕参照。
- (2) 平成23年度3月分までの契約における一者応札・一者応募の契約の点検・見直しについて
資料3に基づき、平成23年度下半期の契約一覧を確認した後、一者応札・一者応募の6件の契約について、質疑応答がなされた。

※No. 7「人事給与統合システム保守」については、競争性のない随意契約として議事（1）で確認済みであることから割愛されることになった。
※質疑の概要については、〔別紙〕参照。
- (3) その他

質疑概要

【（１）契約監視委員会（第１回）の指摘事項のフォローアップについて】	
① 競争性のない随意契約の点検・見直しについて ○人事給与統合システム保守 ○財務会計システムソフトウェアの保守委託業務	
確認事項・意見	回答
<p>【確認事項】システムの導入と保守を全体として契約を考え、現在のシステムの継続使用が効率的であることを、しっかりと説明できるようにしてほしい。</p> <p>・次の更新の際には、導入時に保守５年間分も含めて、一般競争入札にかけるという方法に変えて行ってほしい。或いは、別の業者が保守をし易いような、分かり易い内容のシステムにすることを条件に入れてほしい。</p>	<p>・現在使用しているシステムは、システム導入と保守を一体として契約することができない。また、現在のシステムを継続使用した場合の、システムと保守５年間の合計金額が、新たなシステムを保守５年間と一体で導入した場合の金額よりも安価であることから、現在のシステムを引き続き使用の方が有利である。</p> <p>・次期更新時には、今回のご指摘内容を踏まえて契約の見直しを行う。</p>
② 一者応札の点検・見直しについて ○基幹システム運用保守サポート業務（資料２－１） ○基幹システムハードウェア保守業務（資料２－２） ○大学情報データベースシステム システム保守（資料２－３）	
確認事項・意見	回答
<p>【確認事項】一者応札については、特に予定価格が適切に算出されているかが重要となる。予定価格の算定から契約まで一連の流れを説明できるようにしてほしい。</p> <p>・基幹システム運用保守サポート業務については、予定価格算定において、積算資料に基づいた積算価格と、業者から徴収した参考見積書の価格を比較しているが、両者の技術者料金は従事時間数の捉え方が違うのではないか。積算資料の技術者料金は１ヶ月間業務に専念した場合のものであるのに対し、参考見積書の方は、どれくらいの業務量に基づいたものか、前年度の実績で示してほしい。</p>	<p>・３つの契約案件について、資料２に基づき説明がなされた。</p>

<p>② 一者応札の点検・見直しについて ○本館設備業務</p>	
確認事項・意見	回答
<p>【確認事項】昨年度より今年度の予定価格はわずかに上昇しているだけだが、契約金額は大きく上昇している。年度によって多少の差額は発生することと思われるが、契約金額の状況を説明してほしい。</p>	<p>・前年度の 22 年度は 5 者の入札参加業者があったのに対し、23 年度は震災の影響で 1 者のみであったため、競争が働かず、落札金額が高くなってしまった。24 年度は、入札時期等を見直した結果、11 者の参加があり、落札金額も競争が働いた金額に戻った。</p>
<p>② 一者応札の点検・見直しについて ○コピー用紙（資料 2-4）</p>	
確認事項・意見	回答
<p>・1 回目と 2 回目の両方の入札の状況を確認したい。両方の予定価格の差額について妥当性の根拠を示してほしい。</p>	<p>・1 回目の入札では、市場動向等を十分に分析せず、安価な契約実績をもって予定価格としたことにより、応札業者は対応できず、不落随意契約も不調に終わった。2 回目の再度公告入札の際には、市場調査で、製紙の供給量に震災の影響がでていることが分かり、実績を適用せず納入可能な業者から徴収した参考見積書の金額をもって予定価格とした。</p> <p>1 者応札については、たまたま応募してきたのが、1 者しか無かったという事である。</p>

【（２）平成２３年度３月分までの契約における一者応札・一者応募の契約の点検・見直しについて】	
○独立行政法人大学評価・学位授与機構小平本館地区で使用する電気（資料４－１）	
質問・意見	回答
・この案件について、簡単に説明してほしい。	・本件は、震災の影響により、現契約相手の東京電力より今回は応札しない旨の連絡があったことから、近郊の全ての電気業者と近隣の大学が契約予定の電気業者に声掛けをしたのだが、機構の規模が小さくメリットが無いという理由から、どこも入札に応じないという中で、唯一参加してくれた１者と契約締結に至ったという流れである。
・前年度の契約との違いは何か。	・契約内容はそれぞれの電力会社の約款に基づいているため、契約相手毎に異なる。また、今回の契約相手は前年度の東京電力と違い、自社の送電線を持っていないため、東京電力への送電線の賃貸料が別途発生し、その分の経費の跳ね返りが契約金額に影響していると思われる。
・予定価格が前年度と比べて、下がっているのはどうしてか。	・予定価格を積算するにあたり、節電が進められた前年度の電力使用量を実績として使用しているためである。
○学位授与業務支援システムソフトウェア機能追加・改修等 一式（資料４－２）	
質問・意見	回答
・一者応札になった理由を説明してほしい。	・アンケートをとった結果、資格要件のISO/IEC27001:2005及びISO/9001:2008が取得できなかったという理由と、応札しても落札の見込みがないと判断したという理由があった。

<ul style="list-style-type: none"> アンケートに、仕様書の資格要件を満たしていないという辞退理由があったということだが、資格要件の内、何が足りないのか。（また、国際標準化機構、国際電気標準会議による認証を取得している業者は少ないものなのか。） 	
<ul style="list-style-type: none"> システム導入時の契約関係書類をご用意いただき、システムの納入時期や契約金額、規模等を説明してほしい。 	
<p>○Web Proxy (アンチウイルス) アプライアンスシステム 一式 (資料4-3)</p>	
<p>質問・意見</p>	<p>回答</p>
<ul style="list-style-type: none"> この案件の内容と、一者応札になった理由を説明してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 基幹システムの一環である既存のWebProxyの保守サポートが終了するため、新たに導入するものである。1者応札に関しては、仕様書の、機構の基幹サーバと機構で使用しているファイアウォールの「構築経験を有する」という条件を満たさないため、という理由で辞退したところがあった。
<ul style="list-style-type: none"> 同様の業者が複数あることを想定して、仕様書を作成したか。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書に「機構のネットワーク環境・セキュリティ対策環境を構築したネットワークシステムズ(株)との間で連絡体制をとること。」という一文を入れることで、他の業者も入札に参加できると判断した。
<ul style="list-style-type: none"> システムの全体像が分かり、システムを構成している各々についての導入時期や契約期間が記されている資料を用意してほしい。 	

○コアスイッチ・サーバスイッチ機器更新 一式 (資料4-4)	
質問・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> この案件の内容と、一者応札になった理由を説明してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 基幹システムネットワークのコアスイッチ2台とサーバスイッチ6台の老朽化が進んでおり、遠くない将来サポートの終了が見込まれるため、機器を更新したものである。一者応札に関しては、WebProxyと同様に仕様書の、機構の基幹サーバと機構で使用しているファイアウォールの「構築経験を有する」という条件を満たさないため、という理由で辞退したところがあった。
<ul style="list-style-type: none"> 一者応札になった原因を調べ、複数応札にするための対策を、次回に説明していただきたい。(ただし、入札の公告期間を延ばすなどの形式的なものではない対応を考えていただきたい。) 	
○学位審査システム仮想化基盤システムおよび統合ディスクストレージシステム 一式 (資料4-5)	
質問・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> 一者応札になった原因を調べ、複数応札にするための対策を、次回に説明していただきたい。(ただし、入札の公告期間を延ばすなどの形式的なものではない対応を考えていただきたい。) 	
○無線 LAN システム 一式 (資料4-6)	
質問・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> 無線 LAN システムに関しては、多くの業者が競争参加できると思われるが、一者応札になった理由を説明いただきたい。また、仕様書を取りに来た業者の数と入札説明会の有無を教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 原課からの依頼が遅かったため、納期との関係で入札公告期間を短くしたことにより「納期が間に合わないため」という辞退理由がありました。また、仕様書の配布数は3社で、その内2社が上の理由で辞退しました。なお、今回は緊急であったため、説明会は開いておりません。

・資料4-3～6について、委員より次のとおり意見があった。

・基幹システム関係一連の一者応札の契約について、システム全体を一括で契約すれば競争入札に応じられるが、小割で契約されているために、最初にシステムを構築したネットワークシステムズ(株)と連携をとらなければならないという条件が生じ、他の業者が競争入札に応じられないのではないかと客観的に見えてしまう。計画的に行ってほしい。

・今後の委員会において、保守や改修については、本体の契約金額や規模が分かるような資料を用意して説明してほしい。

・今回のような情報部門の契約が多いときは、情報システムの担当者の方に同席いただき、説明してほしい。

(3) その他

特になし。